

授業支援ツール紹介

ゼミ選考支援システム、peas

2019年2月28日

法政大学 情報メディア教育研究センター 藤井聡一郎
soichiro.fujii.dc@hosei.ac.jp

概要

授業支援ツールの概要、ユースケースについて紹介します。

- ・ ゼミ選考支援システム match
- ・ 相互評価支援ツール peas

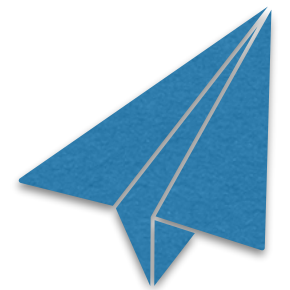
peasは試験的にLTIサービスとして外部へ提供しています。

ゼミ選考支援システム

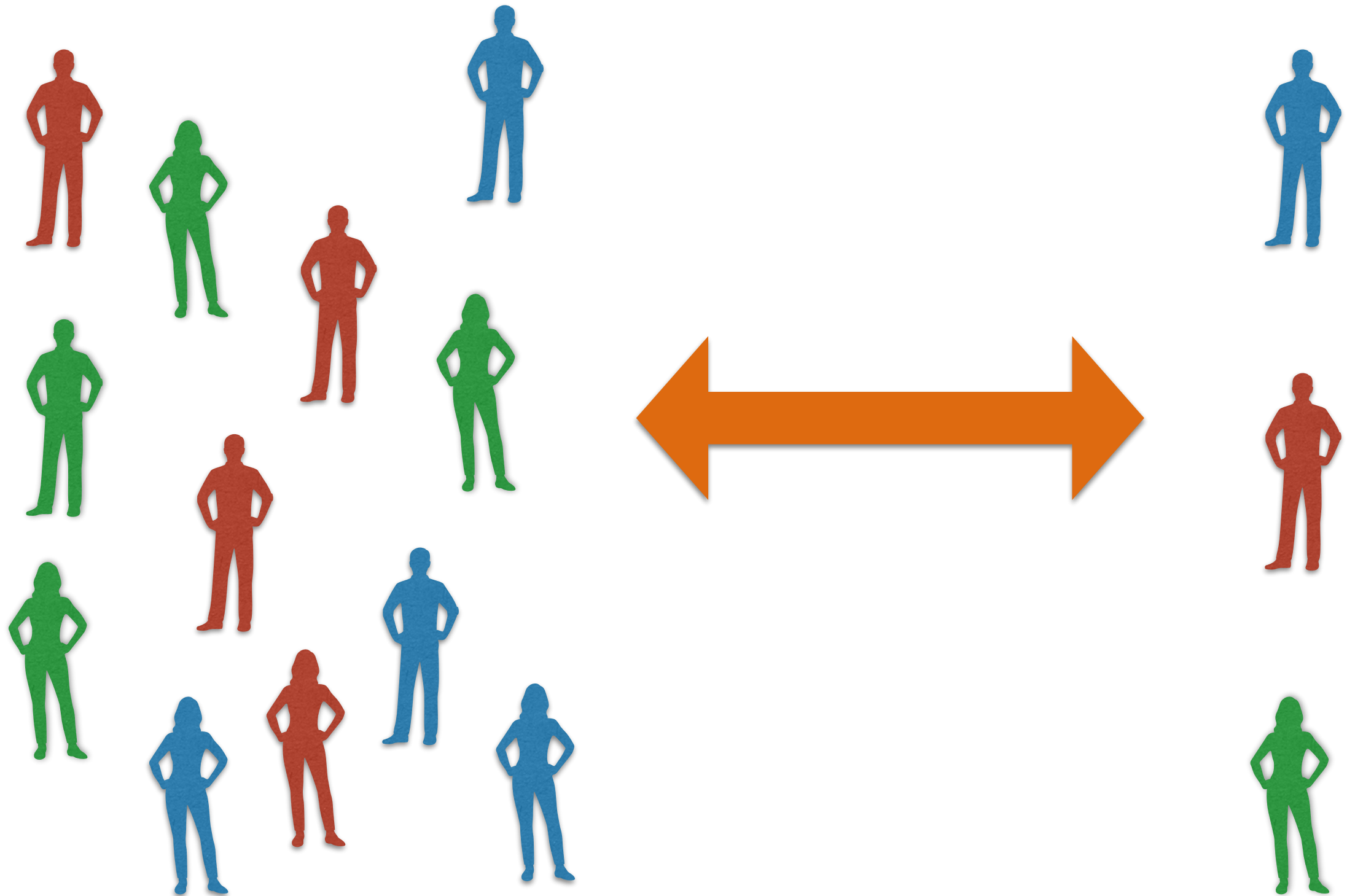
match

match 導入の背景

- ・ 依頼主：経済学部教員
- ・ 依頼内容：ゼミ選考プロセスを紙ベースで実施しているが、大変なのでなんとかして欲しい。
➡ Webアプリケーションを開発しIT化した。
- ・ 他の部局からも利用したいと要望が出てきた。
➡ 部局の選考プロセスのヒアリングとそれに沿ったシステムを開発した。



match 学生と教員のマッチング



match 学生の応募

[ホーム](#)
[ユーザ](#)
[ゼミ応募](#)
[ゼミ一覧](#)

こんにちは 藤井 聡一郎 さん 140247 - [STUDENT]
 [ログアウト](#)

一次選考

開始 ▶ [希望ゼミへの応募](#) ▶ 選考に臨む ▶ 合否を確認 ▶ (合格の場合)ゼミの確定 (不合格の場合)次の募集への応募 ▶ 終了

▶ 応募受付期間：2017年1月1日 00時00分 ~ 10月10日 00時00分

▶ 最大応募可能数: 1

▶ 応募状況公開：応募受付締め切り後に表示

▶ 選考実施期間：2017年2月2日 00時00分 ~ 11月4日 00時00分

応募中のゼミ一覧

教員1ゼミ

選考方法:

面接：日時: 11/4 13:30, 場所: XX教室 レポート：その他：自己PRにTOEICの得点を記載すること。

自己PR

自己PRを入力してください。(600文字以内) *

このゼミを希望します。

TOEICは600点です。

[自己PRを更新する](#)
[応募を取り消す](#)

match 教員の選考

[ホーム](#)
[ユーザ](#)
[ゼミ](#)
[ゼミ応募](#)
[ゼミ一覧](#)

こんにちは 教員 一郎 さん teacher1 - [TEACHER]
 [ログアウト](#)

一次選考 概要

- 募集情報入力期間：2017年9月1日 00時00分 ～ 9月10日 00時00分
- 応募受付期間：2017年1月1日 00時00分 ～ 10月10日 00時00分
- 最大応募可能数: 1
- 応募状況公開：応募受付締め切り後に表示
- 選考実施期間：2017年2月2日 00時00分 ～ 11月4日 00時00分

募集フォーム

募集定員

現1年生: 1
現2年生: 2
現3年生: 3

選考方法

面接、試験、レポートなどの説明を入力してください。（提出方法や、日時、場所など）
面接：日時: 11/4 13:30, 場所: XX教室 レポート：その他：自己PRにTOEICの得点を記載すること。

応募者一覧

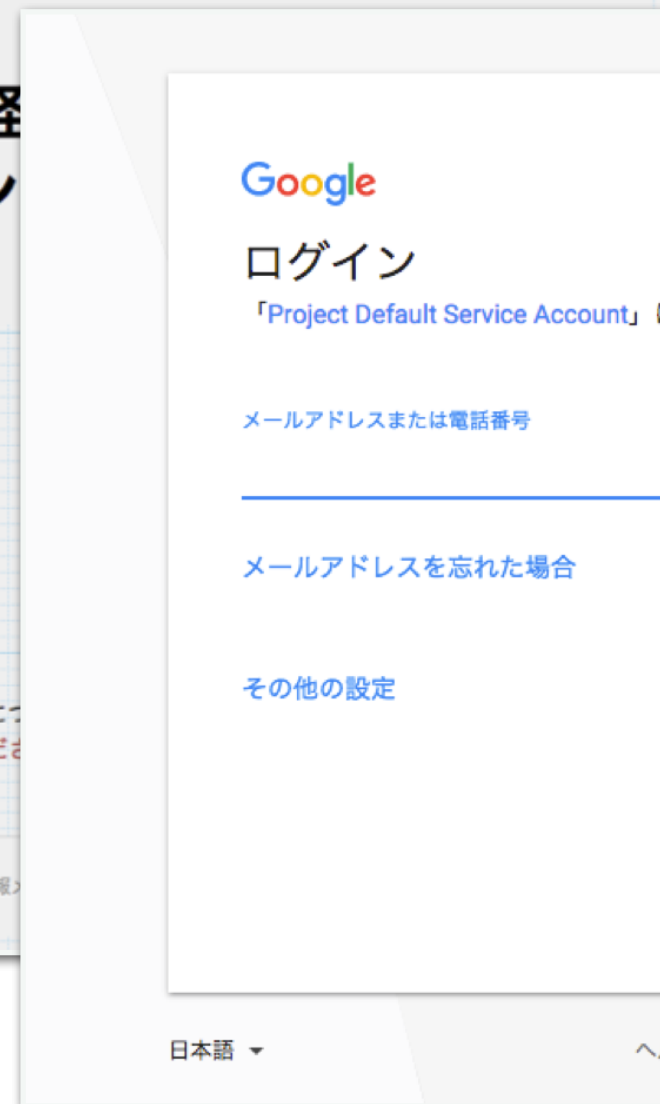
[応募者情報をダウンロードする](#)

合否選択	状態	学生証番号	氏名	性別	所属	学年	自己PR	詳細
合格	合否選択中	student1	法政 太郎	男性	経済学部 OO学科	1	テスト応募です。	i
不合格	合否選択中	140247	藤井 聡一郎	男性	経済学部 OO学科	1	このゼミを希望します。TOEICは600点です。	i

[合否選択を確定する](#)
 ※一度確定すると取り消しはできないので注意してください。

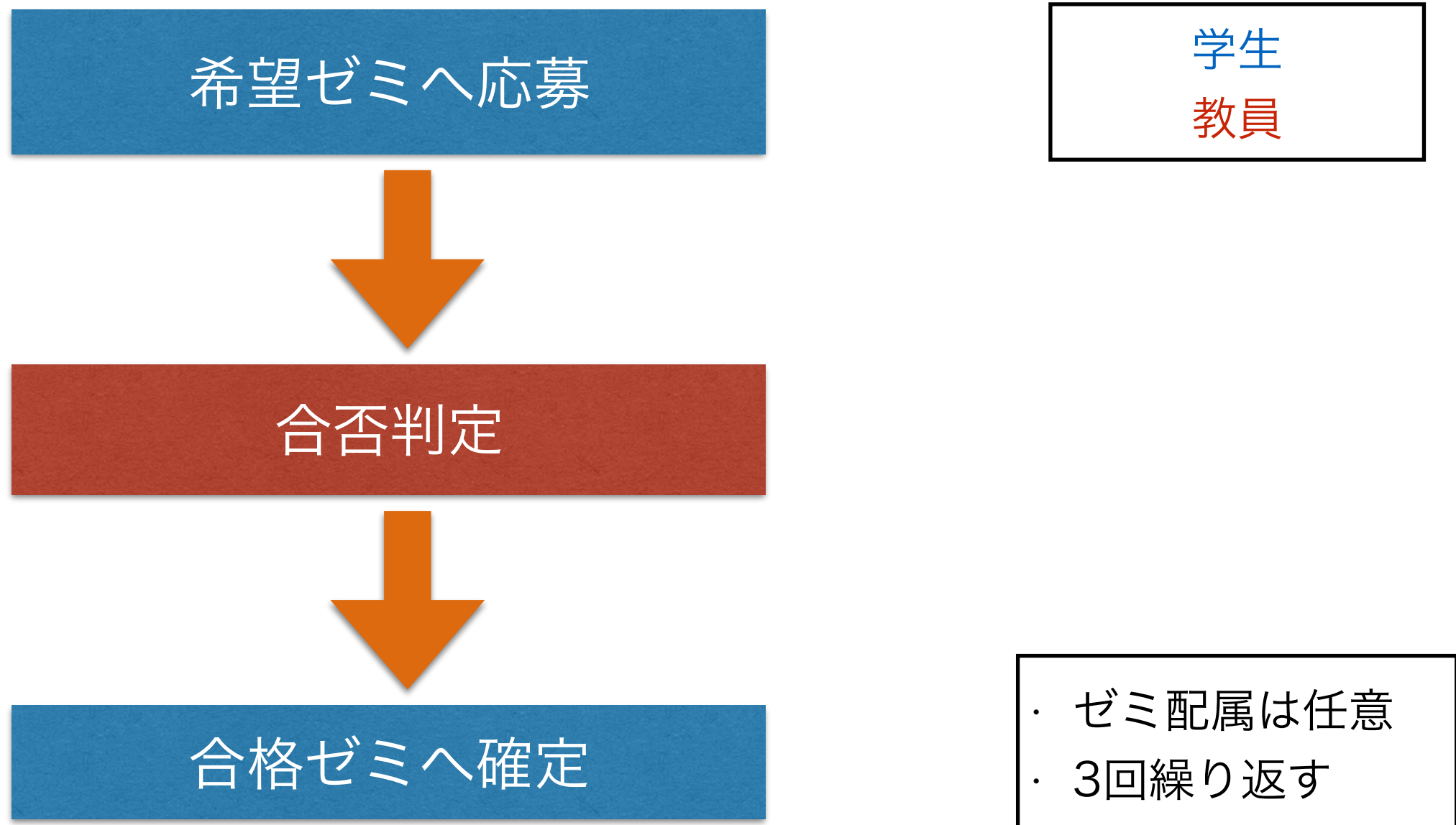
match Gmailによる認証

Google OAuthを利用



match 選考プロセス概要

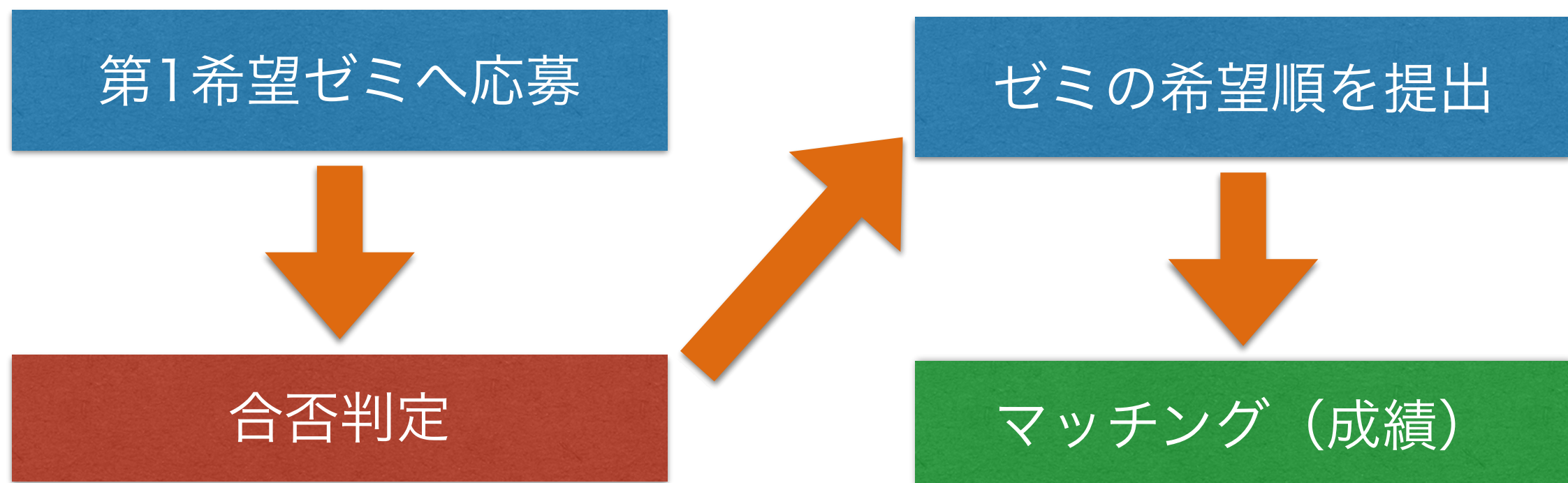
経済学部



match 選考プロセス概要

理工学部 創生科学科

学生
教員
システム



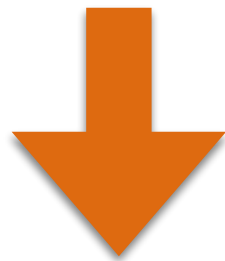
- ・ゼミ配属は必須
- ・マッチングは希望順位を優先した独自アルゴリズムを使用

match 選考プロセス概要

理工学部 経営システム工学科

学生
教員
システム

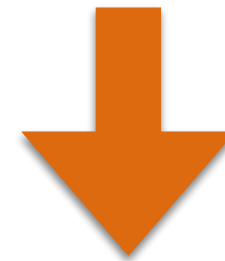
第1希望ゼミへ応募



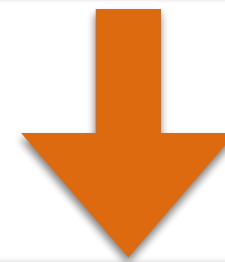
合否判定



ゼミの希望順を提出



合否判定



マッチング（成績）

- ・ ゼミ配属は必須
- ・ マッチングは学生最良安定マッチングを採用

match ユースケース

- ・ ゼミ選考
経済学部
理工学部 創生科学科
理工学部 経営システム工学科
- ・ PBLグループニング
理工学部 創生科学科

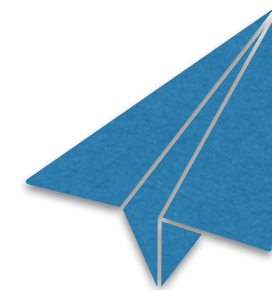
match 導入成果

- ・ 応募や選考のIT化とマッチングの自動化によりゼミ選考プロセスの運用コストが削減できた。
- ・ システム開発のための要件定義により一部不明確だった選考プロセスがより明確になった。

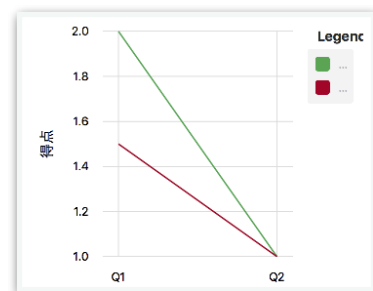
peas

peas 導入の背景

- ・ 依頼主：デザイン工学部教員
- ・ 依頼内容：プレゼンテーションの相互評価を紙で実施しているが、用紙の配布、回収や結果の集計が大変なのでなんとかして欲しい。
- ・ 必要な紙の枚数
30名のクラスとすると・・・
 $30 \times 30 = \text{約}900\text{枚}$
3回相互評価を実施すると・・・
 $900 \times 3 = \text{約}2700\text{枚}$
2クラスで実施すると・・・
 $2700 \times 2 = \text{約}5400\text{枚}$
- ・ 結果の集計はTAがエクセルに打ち込んで運用していた。



peas 相互評価 (個人)



peas

個人プレゼン相互評価 発表者: 藤井 聡一郎

一覧に戻る

Q1. 内容が整理されていたか
★★★★☆ 2

Q2. 声は大きかったか
★★☆☆☆ 1

Q3. 良かったところを書いてください。

投稿する すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。(未入力のものがある場合は提出できません。)

法政大学 情報メディア教育研究センター

peas

個人プレゼン相互評価 発表者: 藤井 聡一郎

一覧に戻る

Q1. 内容が整理されていたか
★★★★☆ 2

Q2. 声は大きかったか
★★☆☆☆ 1

Q3. 良かったところを書いてください。

投稿する すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。(未入力のものがある場合は提出できません。)

法政大学 情報メディア教育研究センター

peas

個人プレゼン相互評価 発表者: 藤井 聡一郎

一覧に戻る

Q1. 内容が整理されていたか
★★★★☆ 2

Q2. 声は大きかったか
★★☆☆☆ 1

Q3. 良かったところを書いてください。

投稿する すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。(未入力のものがある場合は提出できません。)

法政大学 情報メディア教育研究センター

peas

個人プレゼン相互評価 発表者: 藤井 聡一郎

一覧に戻る

Q1. 内容が整理されていたか
★★★★☆ 2

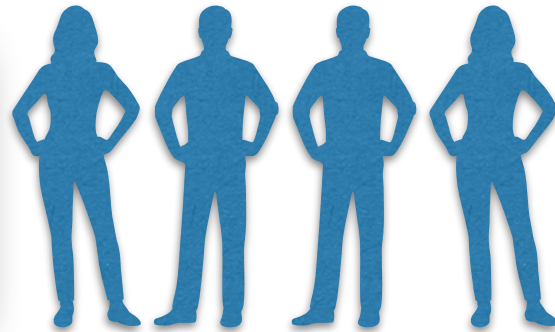
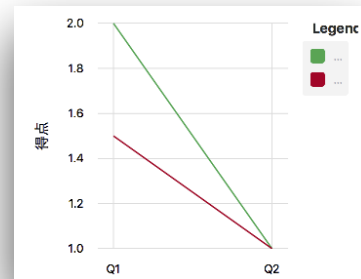
Q2. 声は大きかったか
★★☆☆☆ 1

Q3. 良かったところを書いてください。

投稿する すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。(未入力のものがある場合は提出できません。)

法政大学 情報メディア教育研究センター

peas 相互評価 (グループ)



peas

グループプレゼン 発表者: グループ A

一覧に戻る

Q1. 内容は十分だったか
★★★★☆ 3

Q2. 分担はうまくできていたか
★★★★☆ 3

Q3. アドバイスを書いてください。

投稿する すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。(未入力のものがある場合は提出できません。)

法政大学 情報メディア教育研究センター

peas

グループプレゼン 発表者: グループ A

一覧に戻る

Q1. 内容は十分だったか
★★★★☆ 3

Q2. 分担はうまくできていたか
★★★★☆ 3

Q3. アドバイスを書いてください。

投稿する すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。(未入力のものがある場合は提出できません。)

法政大学 情報メディア教育研究センター

peas

グループプレゼン 発表者: グループ A

一覧に戻る

Q1. 内容は十分だったか
★★★★☆ 3

Q2. 分担はうまくできていたか
★★★★☆ 3

Q3. アドバイスを書いてください。

投稿する すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。(未入力のものがある場合は提出できません。)

法政大学 情報メディア教育研究センター

peas

グループプレゼン 発表者: グループ A

一覧に戻る

Q1. 内容は十分だったか
★★★★☆ 3

Q2. 分担はうまくできていたか
★★★★☆ 3

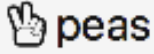
Q3. アドバイスを書いてください。

投稿する すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。(未入力のものがある場合は提出できません。)

法政大学 情報メディア教育研究センター

peas PC、スマホ対応

- ・ n段階評価
- ・ コメント




個人プレゼン相互評価 発表者: 藤井 聡一郎

[一覧に戻る](#)

Q1. 内容が整理されていたか




 2

Q2. 声は大きかったか

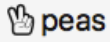



 1

Q3. 良かったところを書いてください。

[投稿する](#) すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。（未入力のものがある場合は提出できません。）

法政大学 情報メディア教育研究センター


[評価する](#)
[一覧から評価する](#)
new
[結果を見る](#)
藤井 聡一郎

個人プレゼン相互評価 発表者: 藤井 聡一郎

[一覧に戻る](#)

Q1. 内容が整理されていたか




 2

Q2. 声は大きかったか




 1

Q3. 良かったところを書いてください。

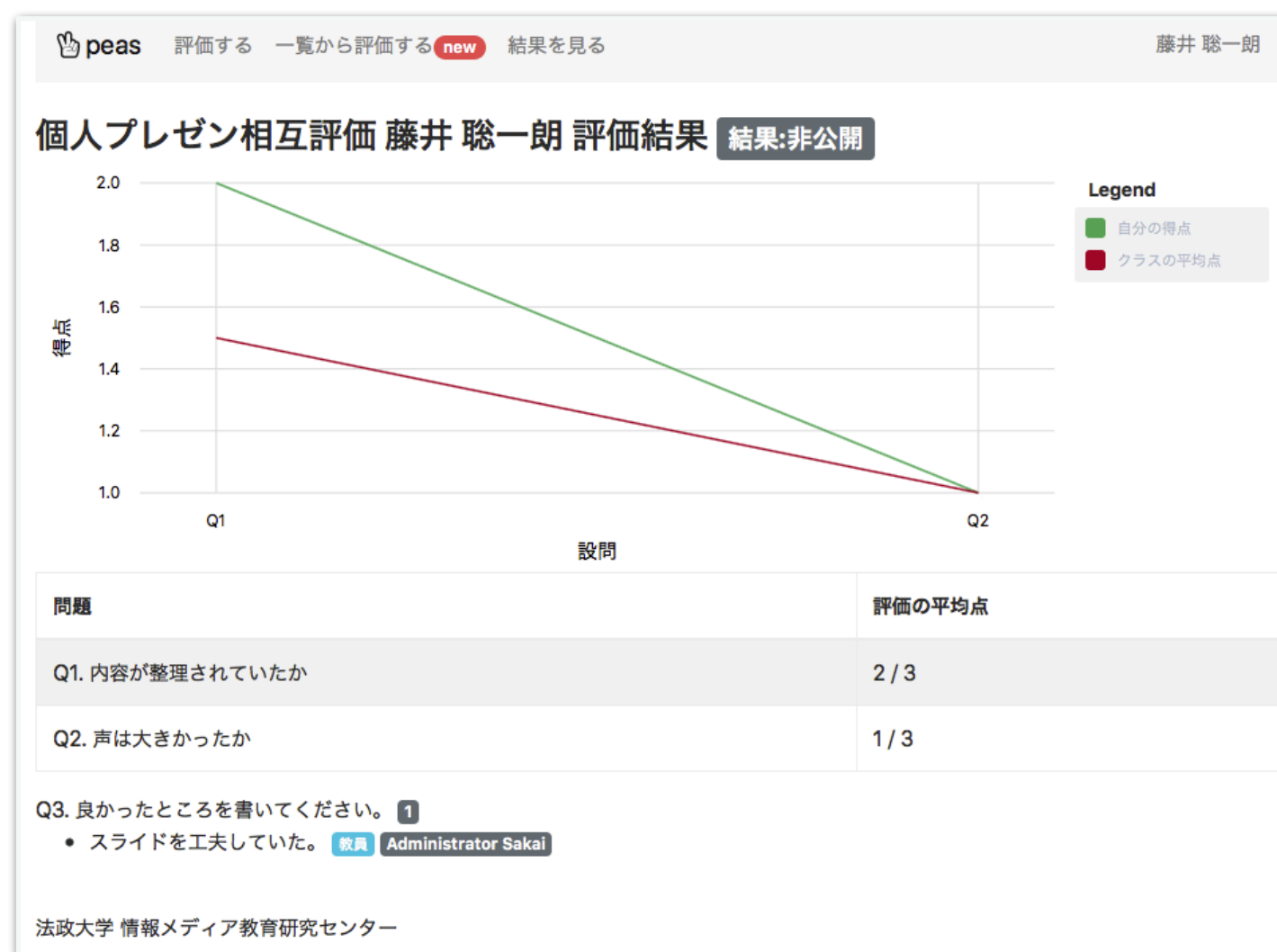
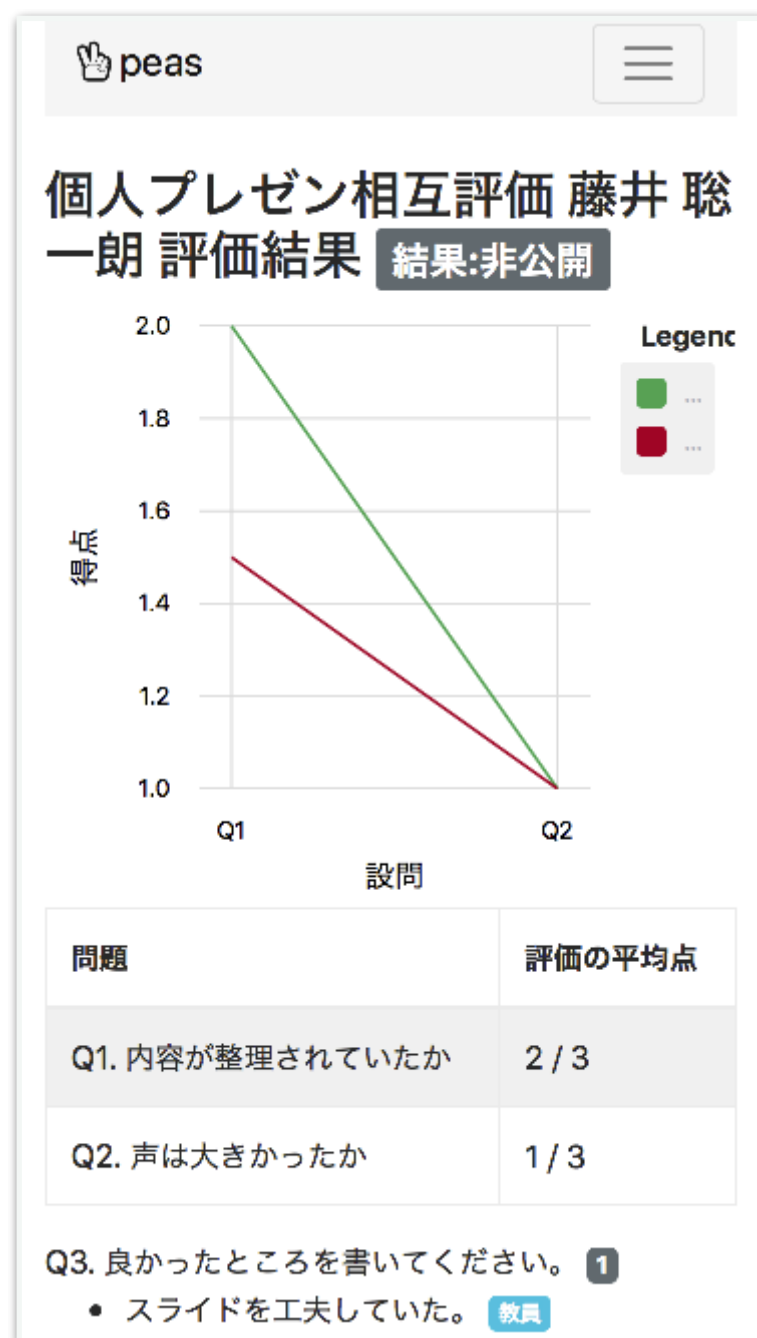
スライドを工夫していた。

[投稿する](#) すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。（未入力のものがある場合は提出できません。）

法政大学 情報メディア教育研究センター

peas 結果の即時集計

自分の得点
クラスの平均点



peas 授業支援システムとの連携 (LTI)

IMS LTIで授業支援システムと連携
リンクをクリックするだけで起動できる



Hetudes
Hosei University

ログアウト

My Workspace テクニカルライティング ネットワークアプリケーション設計論 プログラミング言語 J A V A (火曜3限)

- 続く -

ホーム お知らせ 教材 課題 テスト/アンケート クリッカー 掲示板 授業情報 名簿 成績簿 max++ peas

授業情報表示
オプション
学部：理工学部応用情報工学科プログラミング言語 J A V A (H4043)
連絡先：soichiro.fujii.dc@hosei.ac.jp

授業関係のお知らせ
オプション
お知らせ (最近 30 日間のお知らせです)
現在のお知らせはありません。

メッセージセンター
掲示板

ユーザ支援サイト
教員向けガイド
学生向けガイド
Webシラバス
Gmail(学生向)
FD推進センター

現在のユーザ:
藤井 聡一郎



👍 peas 評価する 一覧から評価する new 結果を見る 藤井 聡一郎

個人プレゼン相互評価 発表者: 藤井 聡一郎

一覧に戻る

Q1. 内容が整理されていたか
★ ★ ☆ 2

Q2. 声は大きかったか
★ ☆ ☆ 1

Q3. 良かったところを書いてください。
スライドを工夫していた。

投稿する すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。(未入力のある場合は提出できません。)

法政大学 情報メディア教育研究センター

デモンストレーション

- ・ 実際の利用風景（ビデオ）
- ・ TAによる授業撮影
- ・ 学生による評価入力（PC/スマホ）

peas ユースケース

- ・ 個人プレゼンの相互評価（デザイン工学部）
- ・ グループプレゼンの相互評価（成蹊大学）
- ・ ゼミ発表の相互評価（経済学部）
- ・ 授業内発表でのクリッカー（法学部）
- ・ 卒研発表/PBL成果発表の相互評価（情報科学部、理工学部）
- ・ 授業でのアンケート/クリッカー（成蹊大学）

peas 導入成果

- ・ 相互評価の運用コストが削減できた。
約2700枚の用紙の配布、回収、Excelでの集計を自動化
- ・ 学生からは
“他の学生から意見をもらえる機会はあまりないので良かった。”
- ・ LTIツール大学間展開の実証実験を実施した。（成蹊大学）

・ LTIサービスとして提供中

まとめ

- ・ 教員からの要望を元にmicro featureな支援ツールを開発した。
- ・ 手間のかかる作業を効率化することで、教員は別の部分へ注力できるようになった。
- ・ IT化により新たな機能が実現できた。
- ・ 学外向けにLTIサービスの試験運用を実施している。

- ・ 学内向け利用手続き
<http://www.media.hosei.ac.jp/education/edutools/>
- ・ 学外向けのお問い合わせ先
法政大学 藤井聡一郎
soichiro.fujii.dc@hosei.ac.jp